



市の台所はどうか。市のやりくりの様子や借金・財産などをおしえてください。

59年度これだけ使い

一般会計
444億円

私たちが納めた税金はどのように使われているのでしょうか。市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年6月と12月の2回、「富士市の財政」を公表しています。

今回は、昭和59年度決算の状況を中心に、昭和60年度予算とその執行状況をお知らせします。

漆畑操子さん(横割6)主婦

昭和59年度一般会計

歳入	科目別	収入済額	構成比	歳出	科目別	支出済額	構成比
……会計年度内(4/1〜翌年3/31)に入ってきたお金。	総額	462億7,394万円	100%	総額	444億3,199万円	100%	
	市税	267億2,219万円	57.7	議会費	3億9,483万円	0.9	
	地方譲与税	4億3,493万円	1.0	総務費	42億3,052万円	9.5	
	分担金及び負担金	14億71万円	3.0	民生費	52億9,636万円	11.9	
	使用料及び手数料	7億1,014万円	1.5	衛生費	76億7,987万円	17.3	
	国庫支出金	41億1,398万円	8.9	労働費	13億3,818万円	3.0	
	県支出金	10億7,412万円	2.3	農林水産業費	11億3,442万円	2.6	
	繰越金	17億2,346万円	3.7	商工費	12億160万円	2.7	
	諸収入	33億4,575万円	7.2	土木費	102億7,191万円	23.1	
	市債	46億6,790万円	10.1	消防費	14億8,102万円	3.3	
	その他	20億8,076万円	4.6	教育費	79億1,972万円	17.9	
					災害復旧費	4,202万円	0.1
				公債費	31億2,417万円	7.0	
				諸支出金	3億1,737万円	0.7	

はてな 一般会計って何…市税収入を主な財源として、福祉・教育・道路・公園・消防などに使われる会計です。 はてな

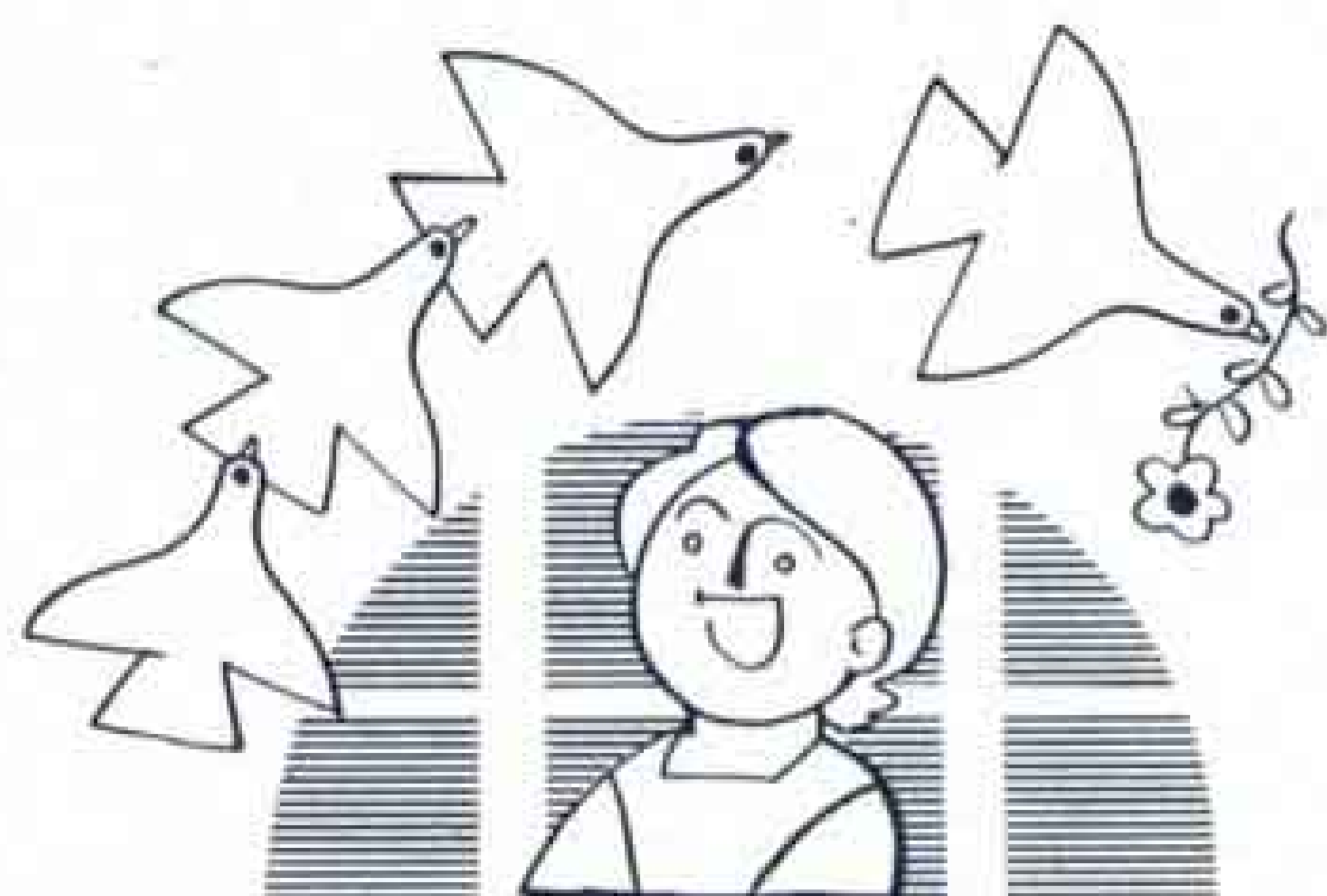
ました 我が市の家計簿を見てください



を文化と産業のまちづくりに

1人当たりの市税
12万4,136円

20万6,406円
1人当たりに使われたお金(一般会計)



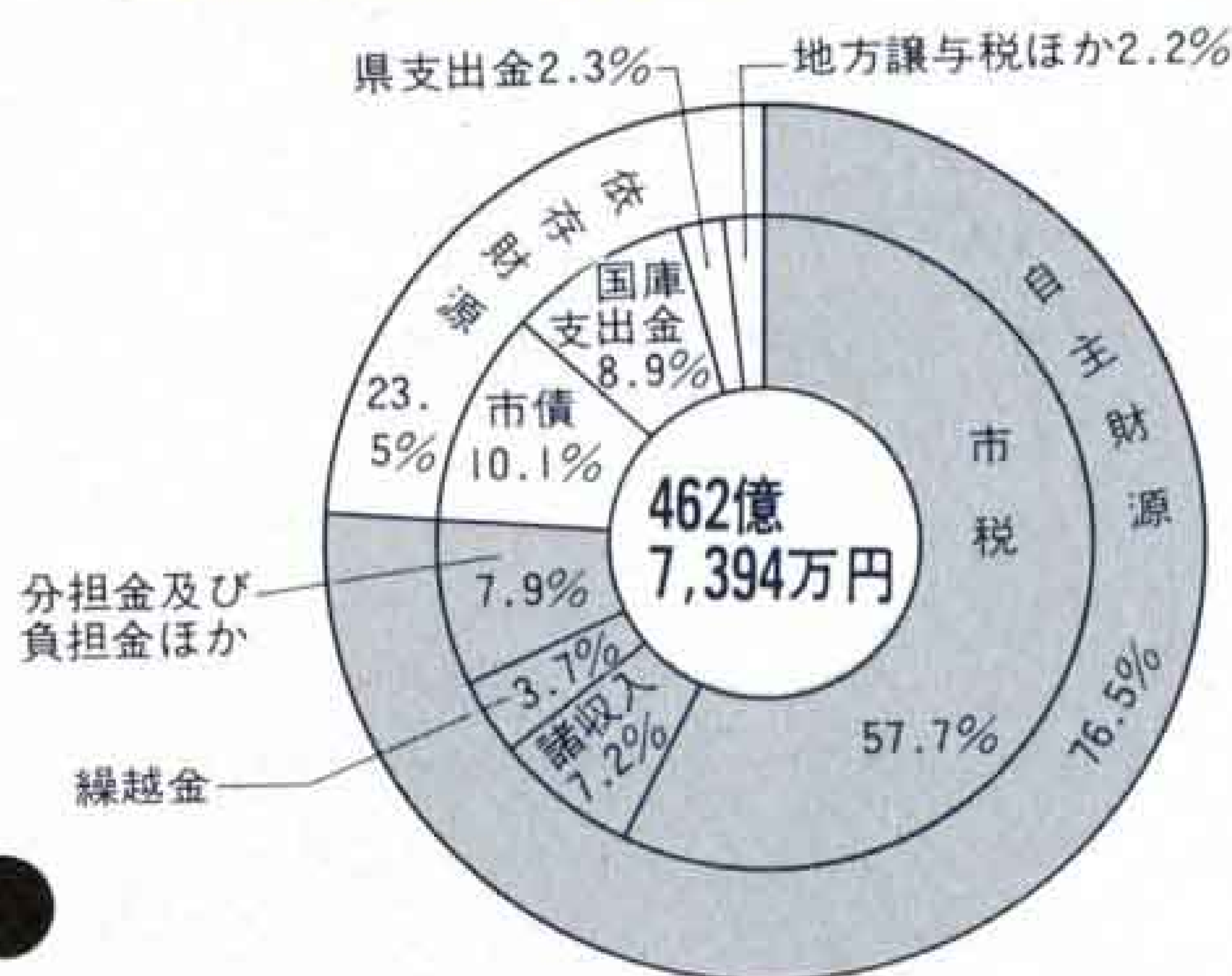
市民税の内訳

総額267億2,219万円

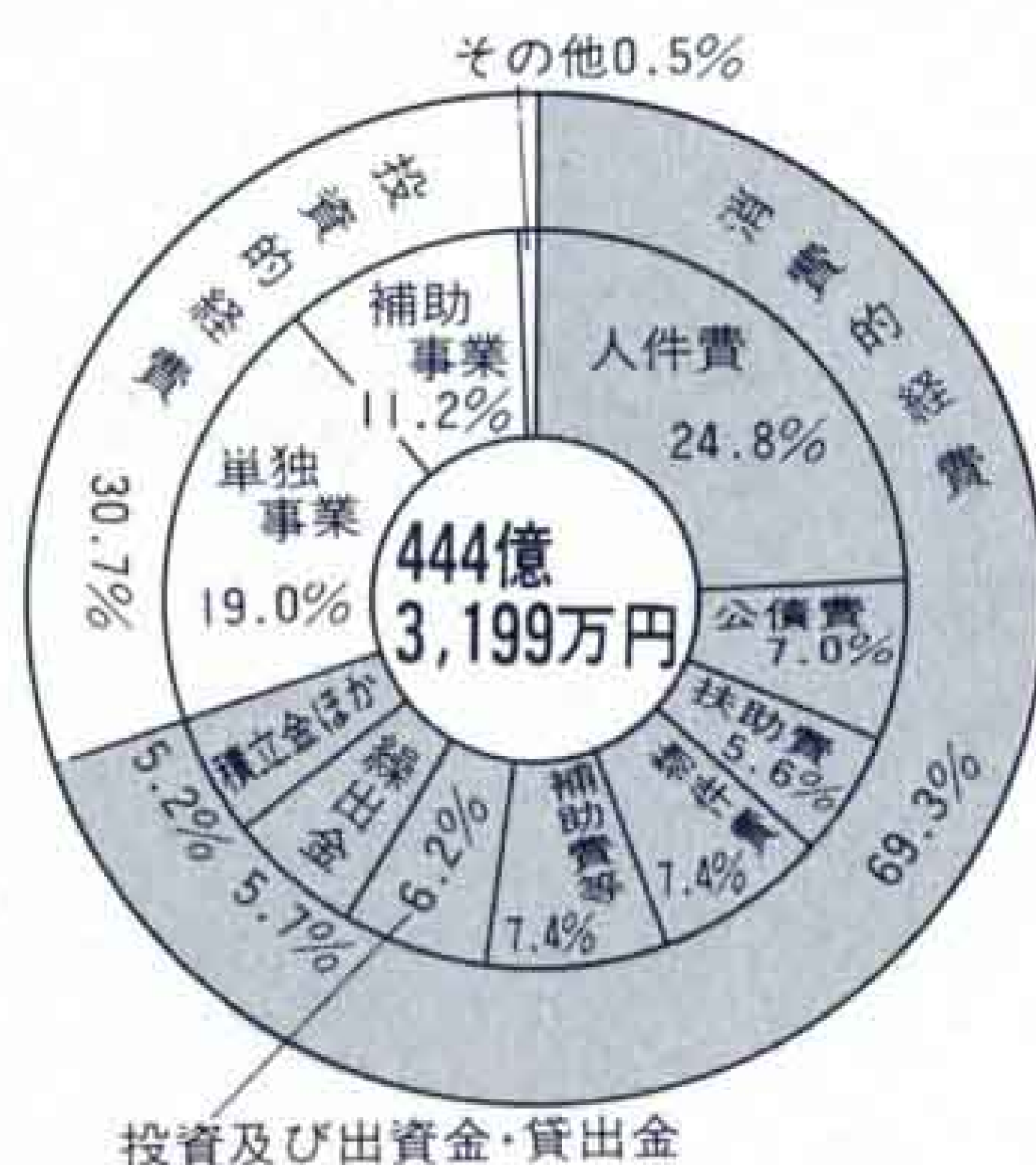
都市計画税
5.1%
13億7,555万円

市民税 46.4%	固定資産税 34.7%	電気税 9.5%	その他 4.3%
124億1,318万円	92億6,054万円	25億2,957万円	11億4,335万円

財源別収入



性質別支出



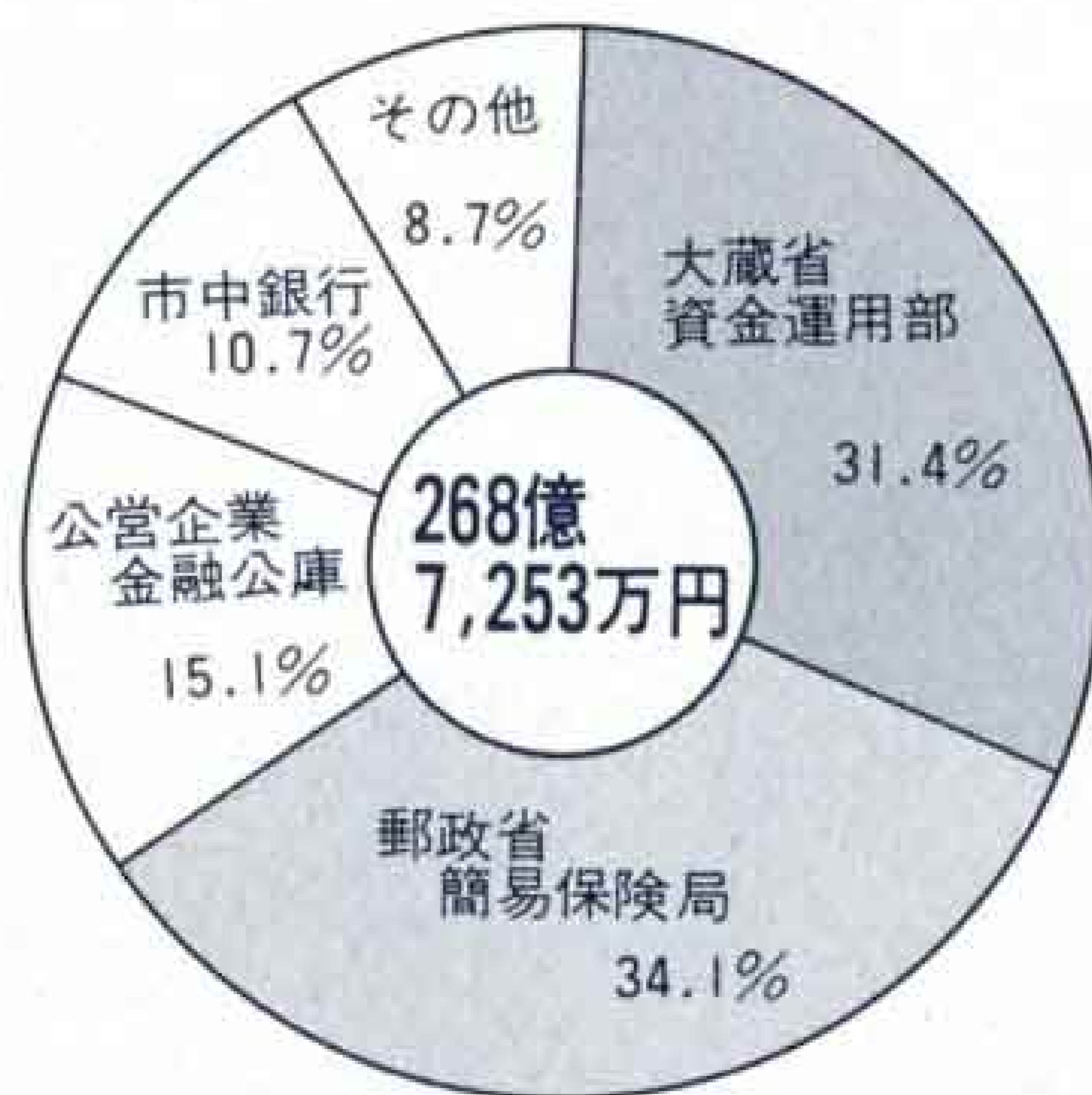
市有財産の状況

有価証券 2,034万 5,000円	
土地 4,915万 3,711平方メートル	
建物 53万768 平方メートル	
立木 22万5,710 立方メートル	
車両 255台	
基金の現在高 48億116万円	
昭和60年9月30日現在	

市債の状況

市の借金を市債といいます。道路や学校をつくるには、巨額な費用が必要となり、市税や補助金だけでは賅えません。そこで、国や銀行からお金を借ります。現在の市債は次のとおりです。

- 一般会計債 268億7,253万円
- 特別会計債 142億6,236万円
- 水道会計債 58億6,871万円
- 病院会計債 95億7,550万円



一般会計債の状況

1、富士山のように美しく自然を愛しきれいな環境をつくります

昭和59年度

特別会計 企業会計の決算状況

特別会計

歳入総額

144億1,936万円

歳出総額

141億2,151万円

(財産管理特別会計は省略しました。)

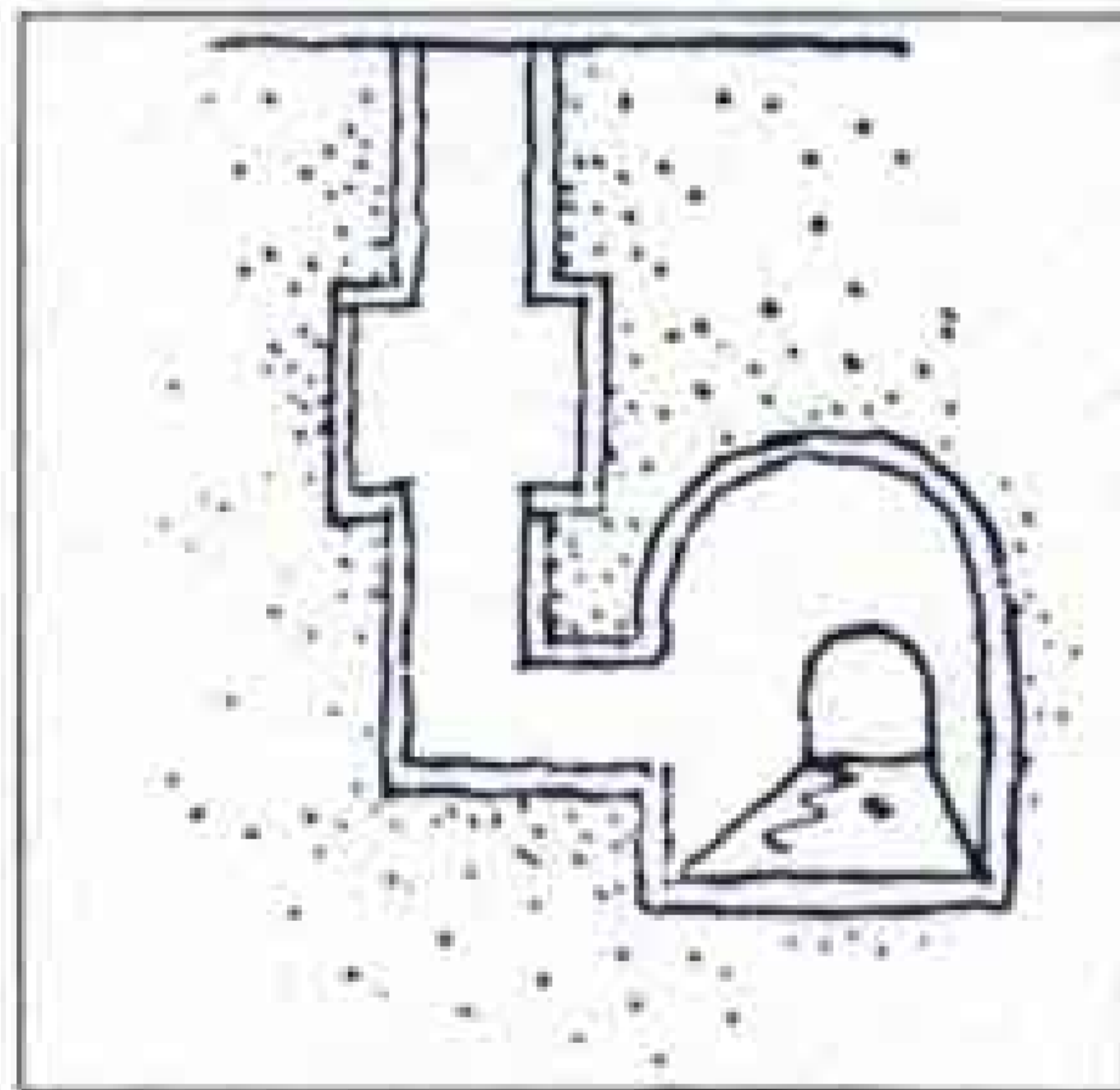
国民健康保険会計



歳入
53億6,158万円
歳出
52億7,204万円

下水道会計

歳入
36億1,831万円
歳出
35億6,905万円



依田原新田区画整理会計



歳入
2,074万円
歳出
2,074万円

富士中部区画整理会計

歳入
11億6,713万円
歳出
11億4,458万円

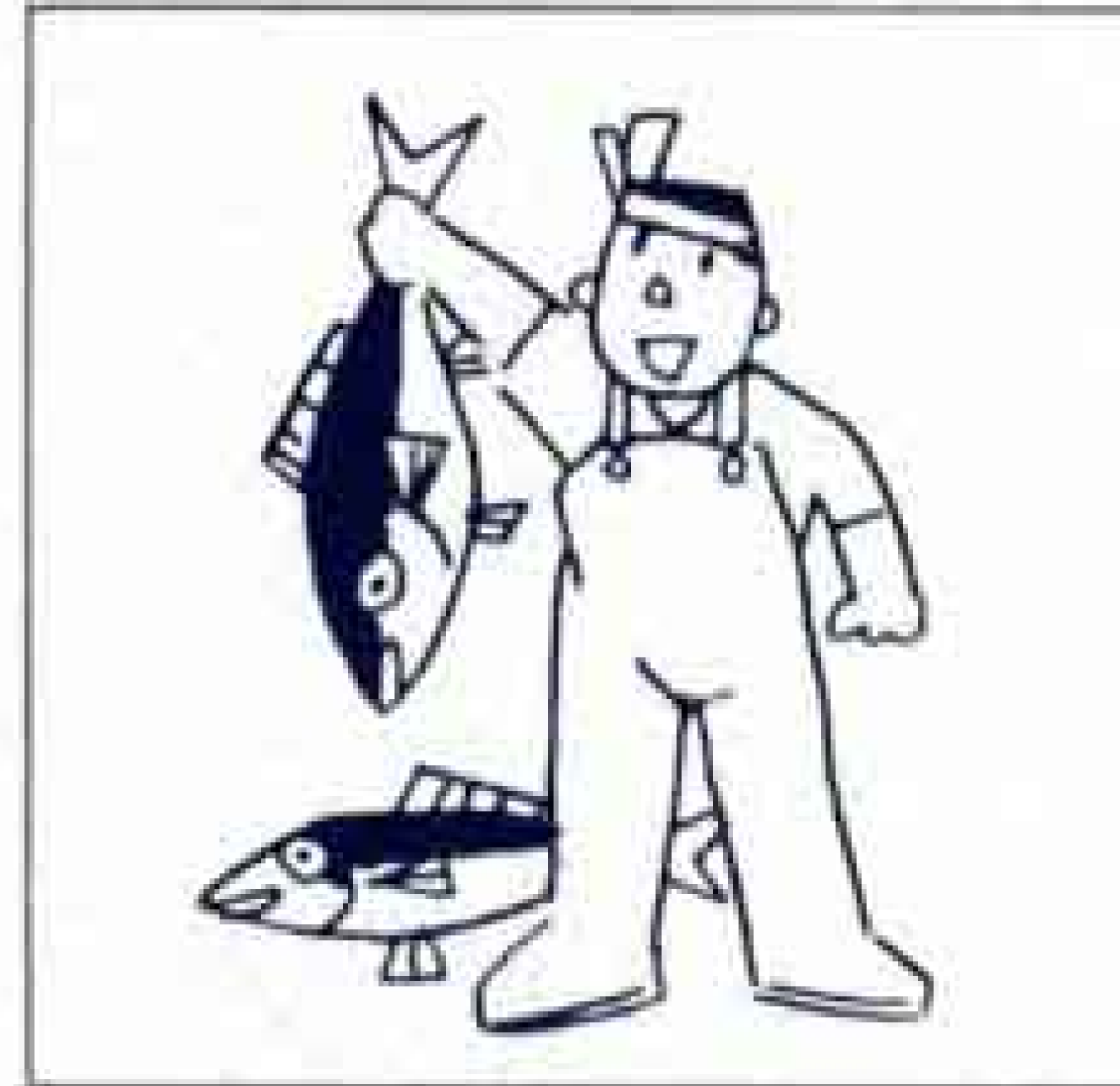


はてな 特別会計……市が特定の事業を行う場合、一般会計とは別にその収入支出を経理する会計です。

はてな 企業会計……民間企業と同じように独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

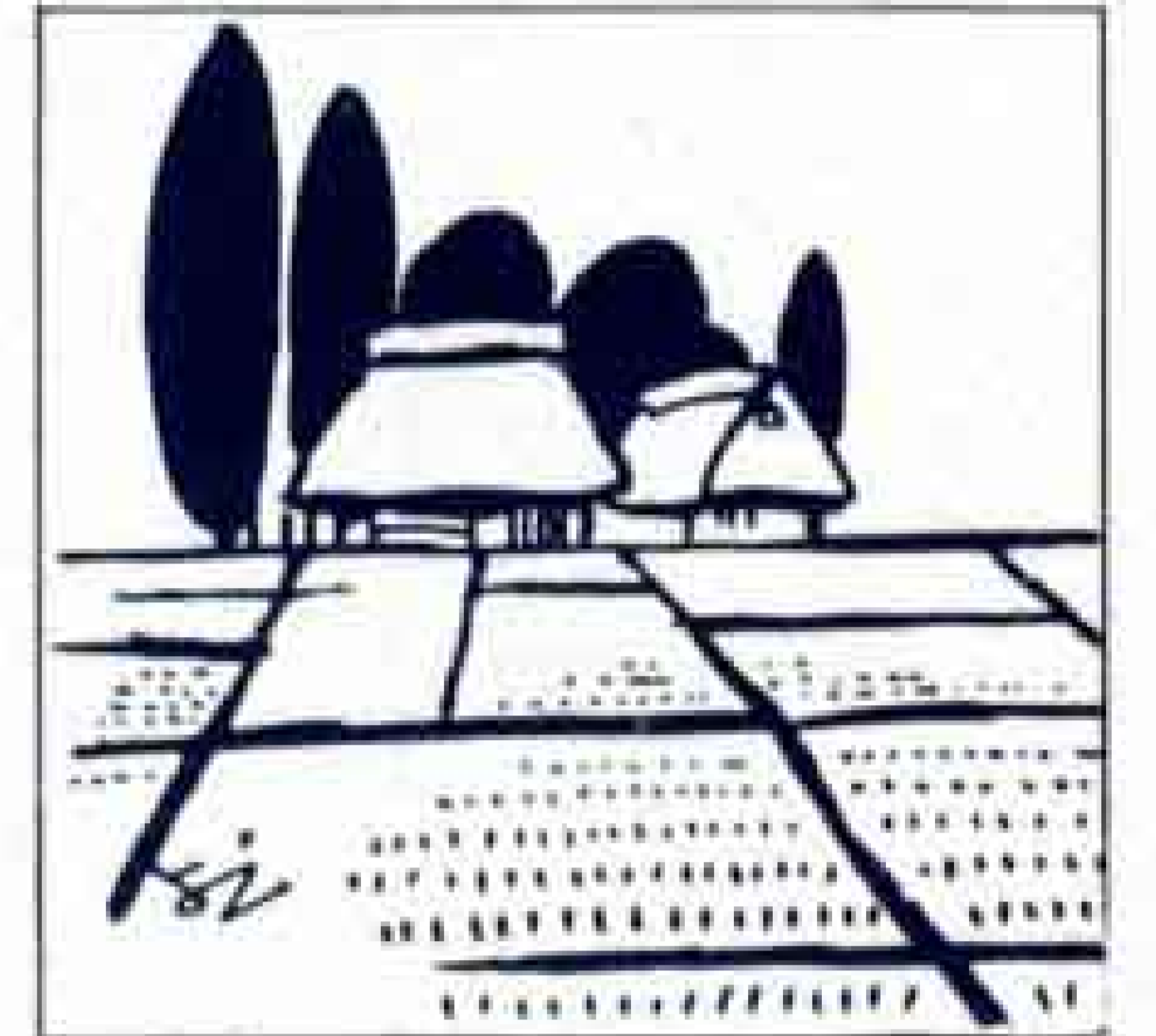
地方卸売市場会計

歳入
3億7,856万円
歳出
3億7,590万円



公共用地先行取得会計

歳入
8,920万円
歳出
8,876万円



駐車場事業会計



歳入
7,261万円
歳出
6,907万円

老人保健医療会計



歳入
35億4,465万円
歳出
35億2,552万円

企業会計

水道事業

収入合計	22億3,500万円
営業収益	20億7,773万円
営業外収益	1億5,727万円
支出合計	20億5,566万円
営業費用	16億4,758万円
営業外費用	4億 808万円
純利益	1億7,934万円
総配水量	3,430万 3,694立方メートル
1日平均配水量	9万3,983立方メートル
1人1日平均配水量	501ℓ

病院事業



収入合計	59億3,675万円
医業収益	39億6,381万円
医業外収益	11億5,540万円
特別利益	8億1,752万円
支出合計	56億 777万円
医業費用	45億5,831万円
医業外費用	5億 778万円
特別損失	5億4,168万円
純利益	3億2,898万円
入院患者	11万9,842人
外来患者	23万2,126人
外来・1日平均	797.7人

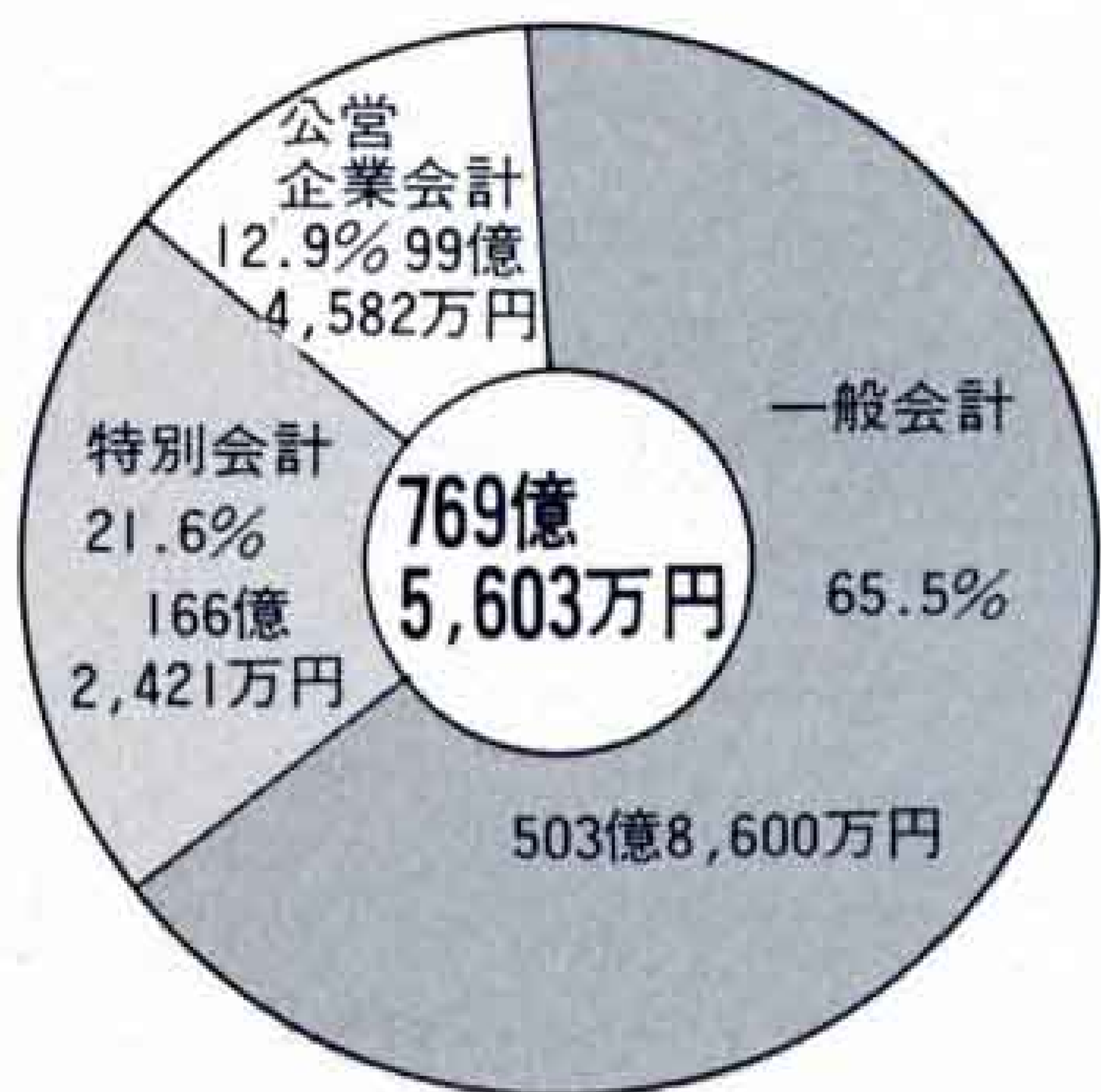


1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります

60年度予算の状況

潤いのあるまちづくりに769億円

総額



昭和60年度の予算額は、2回の追加補正を含め9月30日現在で、一般会計503億8,600万円、特別会計166億2,421万円、公営企業会計99億4,582万円、総額では769億5,603万円になります。

一般会計は、当初予算478億4,000万円に対して25億4,600万円が追加補正されました。歳入面では、自主財

源のもとになる市税収入が、279億1,100万円

特別会計では、下水道事業会計や富士中部土地区画整理事業会計とあわせて4億8,000万円が編入されました。

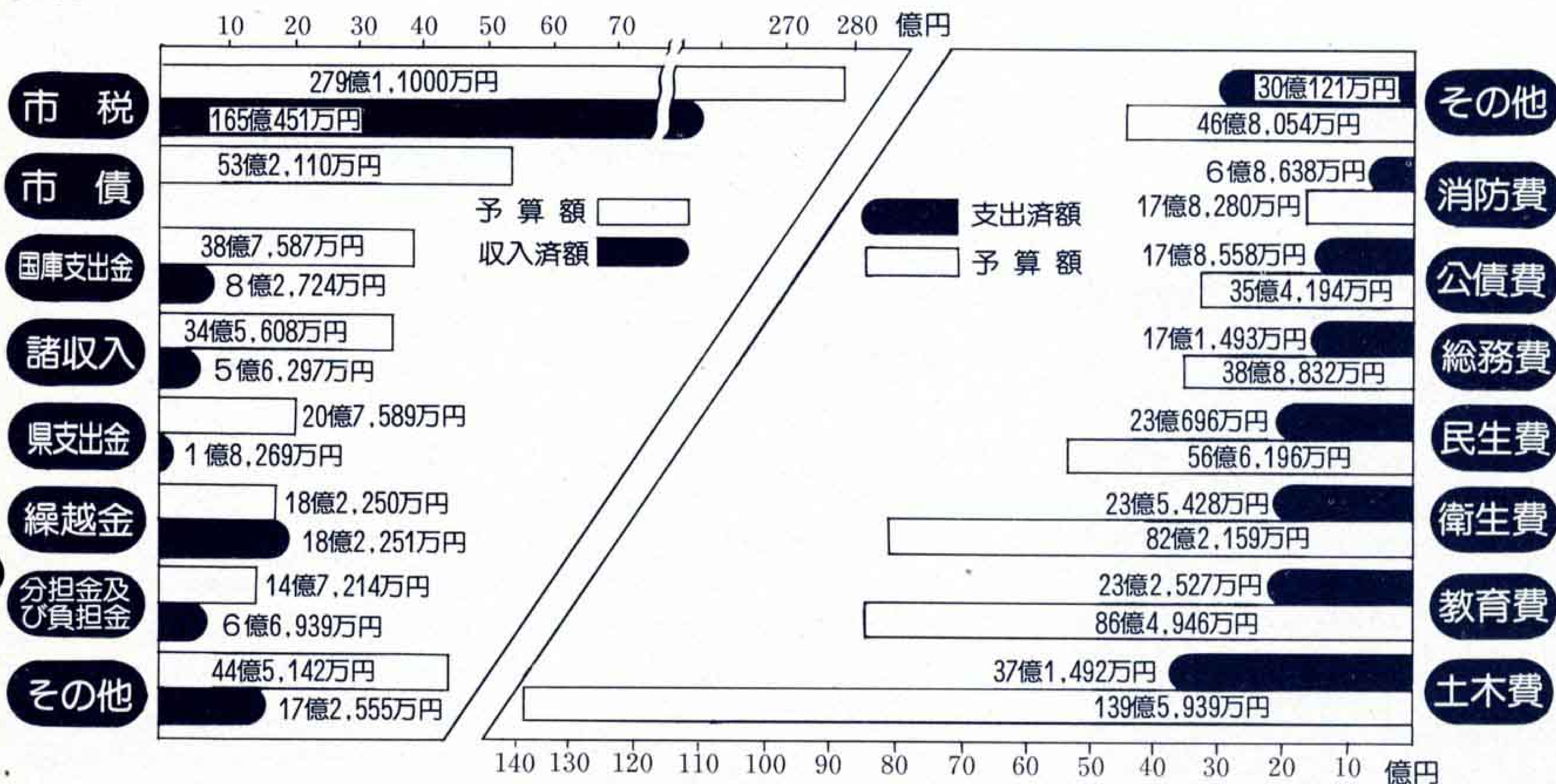
公営企業会計の内訳は、病院会計が72億5,441万円、水道会計が2,050万円の追加補正を含めて26億9,141万円となります。

昭和60年度 一般会計の予算及び執行状況

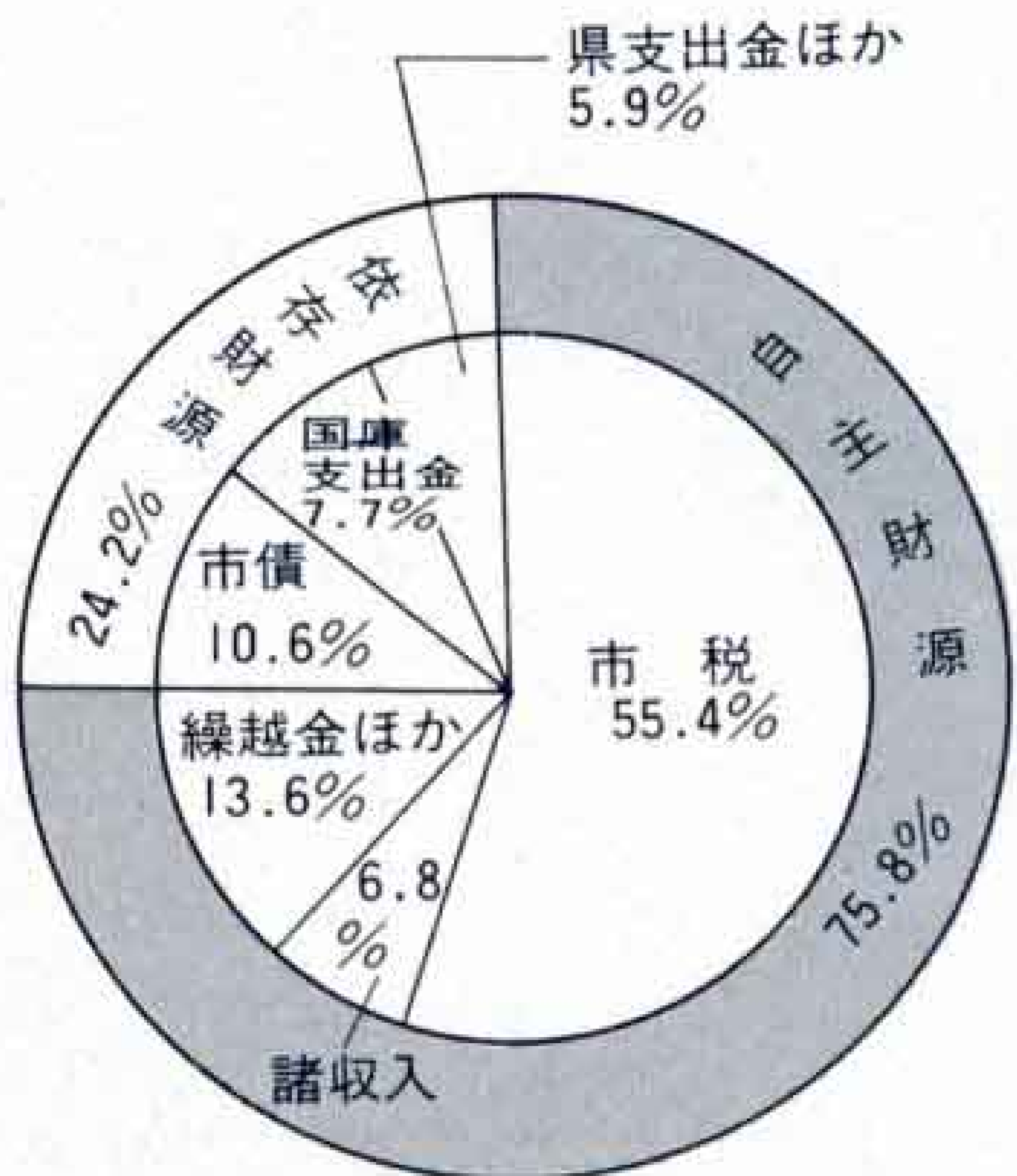
歳入

(昭和60年9月30日現在)

歳出



歳入の財源別状況



歳出の性質別状況

